



(公財) 兵庫県健康財団  
マスコットキャラクター けんぞうくん

新型コロナウイルスに負けないゾウ！

喫煙は感染症の重大なリスク

この機会に禁煙を！



World Health  
Organization

WHO statement:  
Tobacco use and COVID-19

WHO（世界保健機関）は5月に出した声明「Tobacco use and COVID-19」で、公衆衛生専門家らによる研究レビューの結果、喫煙者は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）にかかると、非喫煙者に比べて重症化しやすいことが明らかになったと発表しました。

タバコにより毎年世界で800万人以上の人々が死亡している。これらの死者のうち700万人以上は直接的な喫煙によるもので、約120万人は非喫煙者が副流煙に曝露したことによるものである。

喫煙は多数の呼吸器感染症のリスクファクターとして知られており、呼吸器疾患を重症化させる。2020年4月29日にWHOによって招集された、公衆衛生学の専門家によるこれまでの研究のレビューでは、喫煙者は、非喫煙者と比較してCOVID-19で重篤な疾患を発症しやすいことが発見された。

COVID-19は主に肺を攻撃する感染症である。喫煙は肺の機能を損なうため、身体がコロナウイルスやその他の疾患を撃退することを困難にする。タバコはまた、心血管疾患、癌、呼吸器疾患、糖尿病のような、非感染性疾患のリスクファクターでもあり、これらを有する人々は、COVID-19感染時に重篤な疾患を発症するリスクがより高くなる。これまでの研究から、喫煙者は重篤な疾患の発症と死亡のリスクがより高いことが示唆されている。

WHOは、喫煙やニコチンの摂取とCOVID-19の関連性を調べる研究を含む、新たな研究の評価を常に行っている。WHOは、タバコまたはニコチンがCOVID-19のリスクを低下させる可能性があるという、実証されていない主張を展開することには慎重になるように、研究者、科学者、メディアに促している。現在のところ、COVID-19の予防や治療とタバコやニコチンを関連づける情報は不十分である。

ガムやパッチなどのニコチン置換療法は、喫煙者がタバコを止めることを助けるものである。WHOは喫煙者に対し、フリーダイヤルの禁煙相談、携帯電話のテキストメッセージプログラム、ニコチン置換療法など、効果が実証されている方法で、すぐに禁煙への行動を起こすよう推奨している。

禁煙をすると、開始から20分以内に上昇した心拍数や血圧が低下、12時間後には血中の一酸化炭素濃度が正常値まで低下する。2～12週間以内に血行と肺機能が改善し、1～9か月後には咳や息切れが減少する。

WHOは、倫理審査の承認を受けた高質かつ体系的な研究が個人の健康と公衆衛生の向上に寄与することの重要性と、効果が実証されていない介入を進めることが健康に悪影響を及ぼす可能性を強調している。

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) WHO公式情報特設ページ 非公式日本語訳)

The secret's out.

If your product killed 8 million people each year,  
you'd also target a new generation.

World No Tobacco Day

31 May 2020

World Health Organization